

一般社団法人資源・素材学会「2023年度 春季大会」

「企画講演」セッション一覧

【招請講演：日本鉱業協会 現場担当者会議、日本メタル経済研究所 調査研究成果報告会より】**招待講演**

(講演枠 30 分中、講演 25 分、質疑応答 5 分)

本会では「春季・秋季大会」の活性化の一環として、講演対象をこれまでよりもエンジニアリング部門へ広げ、産・学それぞれが気づきの多い充実した大会を目指しております。

日本鉱業協会「全国鉱山・製錬所現場担当者会議」と日本メタル経済研究所「調査研究成果報告会」での発表者より招請者を選定し、産学相互交流によるニーズ/シーズ発見の場としていただくために、本「現場担当者会議・日本メタル経済研究所エンジニアリングセッション」を企画いたしました。

【鉱業史】**募集型企画** (講演枠 15 分中：講演 12 分、質疑応答 3 分)、(講演枠 20 分中、講演 17 分、質疑応答 3 分)

鉱業および関連技術の歴史に関する研究を対象に、世界と日本の前近代から現代にいたる鉱業を幅広く取り扱う。地質学、鉱山工学、冶金学、歴史学、考古学などの研究が含まれる。

【資源探査に関する研究の動向と大規模データプロセッシング】**募集型企画**

鉱物・エネルギー資源の探査に関する最新の技術動向や基礎研究、さらに、地球・環境科学および数理情報科学を含む幅広いテーマについて議論し、資源・素材研究における新たな価値創造を目指す。

【将来構想計画の活動の評価と今後の展開】**招待講演**

将来構想計画の活動を振り返り、今後の展開に関して関係者の意見を伺う。

学会長期テーマコーディネータの先生方による評価と今後の希望、産業界としての今後の活動に対する期待、学会としての産学連携の意義、今後の将来構想の運営では若手研究者を引き付けるには何が必要か、さらなる学会活動への企業の参加を実現するための課題は何か、などについてパネルディスカッション形式で議論する。

【非鉄製錬技術の今後の展望。新たな研究による素材研究の展開】**招待講演**

(講演枠 25 分中、講演 20 分、質疑応答 5 分)

非鉄製錬原料の低品位化、原料・対応元素多様化、に伴い、製錬技術の変革が求められている。

本企画では産学から最前線の研究・開発を講演いただき今後の展望を議論したい。

【粉体精製工学部門委員会「学生賞セッション」】**募集型企画**

(学生発表：講演枠 15 分中、講演 12 分、質疑応答 3 分)、(招待講演：講演枠 40 分中、講演 35 分、質疑応答 5 分)

粉体精製工学部門委員会では、粉体精製工学に関する研究を行う学生の研究意欲の向上、活性化のために、毎年「学生賞セッション」を企画している。昨年度に引き続き、本年度も「学生賞セッション」を開催し、学生の日頃の研究の成果を企画セッション内で披露するとともに、粉体精製工学部門委員会ならびに他の聴講者との活発的なディスカッションを行うことで、学生の研究の質の向上ならびにネットワークの構築を図る。